

新型コロナウイルス感染拡大から市民生活守れ！ 6月議会での日本共産党議員団の一般質問



ひららぎ哲也議員

**休業補償不払い
雇用調整金支援
臨時休校中の
昼食代支給の
当市でも実施を**



はしづめ法一議員

**PCR検査
センター設置を
病院の統合再編
県に撤回迫れ
病や施設での
面会の支援を**



上野こうえつ議員

**新型コロナウイルス感染
認識と対策は
財政調整基金
今こそ活用を
地域振興NPO
支援の手立てを**

3人の先頭に切っ
て10日に質問に立つ
た上野議員は、新型
コロナウイルス感染
症の拡大による自粛
要請などで疲弊した
暮らしと経済への認
識と対策をただし
ました。

市長は、リーマン
ショック後や東日本
大震災後を上回る厳
しい状況との認識を
示し、融資に対する
助成、家賃・リース
料への助成、雇用調
整助成金の申請費補
助、中小企業等への
市独自の給付、プレ
ミアム付商品券の発
行支援などを行った
と述べました。

これに対して上野
議員は、各種の助成
金の申請のハードル
が高い点を指摘し、
「財政調整基金をあ
る程度使うだけで上
乗せ助成ができる。
今こそ使うべきでは
ないか」と迫りまし
た。

また、多くのイベ
ントが行われない
中、地域振興や活性
化に資するNPO団
体の支援を求めま
した。

市長は、国や県、
市が行っている各種
支援制度の情報提供
と活用促進を行って
いるほか、公的業務
を受託するNPOに
は必要な委託料を支
払っているとの述べ、
今後、活動の活発化
に伴う相談にはしつ
かりと寄り添いな
がら対応すると答え
ました。

3人の最後に質問
に立った平良木議員
は、新型コロナウイルス
の感染拡大に伴
って、市内の職場
で休業補償賃金が支
払われない場合の対
処や、不払いの背景
にある「雇用調整助成
金の申請が困難であ
る」という実態と、支
援の効果の検証につ
いてたしました。

市長は、「担当課へ
の電話相談で不安の
声が数件寄せられた
が、相談内容を聞い
て、相談内容を聞い
て、労働基準監督署
につないでいる」と答
えました。

平良木議員は、「中
小企業・小規模企業
振興基本条例でも、
『従業者の労働環境
の整備、福利厚生
の充実及び仕事と生活
の調和の確保に向け
た取組を促進する』
とうたわれている。
事業者との個別の
き取りの際には、労
働基準法の趣旨と支
援の内容を伝え、活
用促進と労働者保護
を進めるべきだ」と指
摘しました。

平良木議員は次
に、臨時休校中に準
要保護児童に昼食代
を支給している例を
を紹介し、当市での
支給を求めました。
教育長は、「児童
手当の上乗せなどを
行っており、昼食代
の至急は考えていな
い」と答えました
が、再度の求めに対
して、「今後は状況
を見て判断する」と答
えました。

12日午前に質問に
立った橋爪議員は、
まずPCR検査セン
ターの設置を求めて
市長の姿勢をただし
ました。

市長は、「上越保
健所管内では、かか
りつけ医が必要と判
断した場合を含めて
すべて速やかな検査
が実施されている。
現在、医療機関の
負担を軽減するた
め、当地域に適した
センターの形態や、
その運営方法につい
て準備を進めてい
る」と答えました。

橋爪議員は次に、
病院の統合再編問題
について、新型コロ
ナウイルス禍を受け
てさらに考え直し、
国と県に撤回を迫る
よう求めました。

市長は、「この問
題は地域医療構想調
整会議で議論される
もので、最近では、
国の分析では判断で
きない地域の実情を
踏まえ、安定的な医
療提供体制の構築が
必要との認識が共有
されている」と答
え、明確な態度表明
を避けました。

さらに橋爪議員
は、病院や施設で、
オンライン面会など
「家族との面会の代
替措置」に対する支
援を求めました。

市長は、「聞き取
りでは75%で導入
の流れだ。最小限の
経費でオンライン面
会などができる事例
を紹介する」と答え
ました。

12日午前に質問に
立った橋爪議員は、
まずPCR検査セン
ターの設置を求めて
市長の姿勢をただし
ました。

市長は、「上越保
健所管内では、かか
りつけ医が必要と判
断した場合を含めて
すべて速やかな検査
が実施されている。
現在、医療機関の
負担を軽減するた
め、当地域に適した
センターの形態や、
その運営方法につい
て準備を進めてい
る」と答えました。

橋爪議員は次に、
病院の統合再編問題
について、新型コロ
ナウイルス禍を受け
てさらに考え直し、
国と県に撤回を迫る
よう求めました。

市長は、「この問
題は地域医療構想調
整会議で議論される
もので、最近では、
国の分析では判断で
きない地域の実情を
踏まえ、安定的な医
療提供体制の構築が
必要との認識が共有
されている」と答
え、明確な態度表明
を避けました。

さらに橋爪議員
は、病院や施設で、
オンライン面会など
「家族との面会の代
替措置」に対する支
援を求めました。

市長は、「聞き取
りでは75%で導入
の流れだ。最小限の
経費でオンライン面
会などができる事例
を紹介する」と答え
ました。

日本共産党上越市議員団ニュース
No.662 2020年6月21日
連 橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)
絡 上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)
先 平良木 哲也 090-1808-6919 (上中田(金谷区))

国の補正予算受けて6月議会を2日間延長

今議会は当初16日までの予定でしたが、12日に国の第2次補正予算が成立したことを受けて、急遽2日間延長されました。

17日には当初議案の採決に続いて追加議案に対する総括質疑が行われ、上野議員が提案内容をいただきました。その後、委員会審議を経て、18日には追加議案と請願などの採決が行われました。17日と18日の審議や採決の結果は、追加議案を含めて次号で紹介しします。